郷土芸能祭出演リスト

第７回（さつまフェスタでの開催　　於：薩摩総合運動公園グラウンド）

| 番号 | 郷土芸能名 | 出演団体 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 1 | 秋津舞<br>（出演２回目） | 永野区<br>永野兵児塾 | 永野兵児塾は、永野小児童と薩摩中生徒により、郷土芸能「秋津舞」を伝承しています。<br>島津義弘公の朝鮮への出陣または凱旋を祝って踊ったことが始まりといわれています。いでこ（入鼓）・鉦・太鼓で編成され、勢揃い、出陣、攻撃、凱旋とそれぞれに隊形を変えながら勇ましく踊る太鼓踊りです。<br>昭和49年４月に町の無形民俗文化財に指定され、永野地区の小・中学生に継承してきましたが、小学校、中学校の再編により、現在活動は休止しています。 |
| 2 | 兵六踊り | 船木区<br>船木下壮年団 | 天明四年（1784）、毛利正直が書いた「大石兵六夢物語」を基にした庭狂言で、藩政期末に下船木に伝えられたといわれ、鹿児島朝日通りの二才衆大石兵六が、吉野ヶ原（現在の鹿児島市吉野町）の白銀坂に巣食う狐を捕らえようと勇んで行きますが、あの手この手で騙され、それでもなんとか狐を捕らえて帰る様子を面白おかしく演出します。<br>平成27年の船木区農業文化祭において、保存会である壮年団に若い世代を加え、15年ぶりに披露されました。 |
| 3 | 六尺棒踊り | 中津川区<br>北方町清友会 | 踊りの由来は（諸説ありますが、）撃釼浅山流からあみだされたもので、藩主が一般の士気を鼓舞し、いざというときに備え、棒術を踊りに仕込んで農民の子に踊らせ、鍛錬したものという説もあります。毎年「金吾様踊り」で奉納しています。 |
| 4 | 疱瘡踊り | 柏原区<br>市場公民会疱瘡踊保存会 | 疱瘡（できもの）が流行していた時代に、それらにかからぬようにとか、お伊勢参りをして罹っても軽くて済むようにと祈る踊りです。病気を追い出す虫追いの踊りの一種で、市場集落の女性のみで継承されています。 |